

大学番号：060

注3

[令和2年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置又は課程の変更

事前伺い

注1

奈良女子大学大学院 人間文化総合科学研究科  
生活環境科学専攻（博士後期課程）

注2

## 【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 奈良女子大学  
令和2年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	総務・企画課
職名・氏名	大学改革推進係長 小島 崇典
電話番号	0742-20-3692
（夜間）	0742-20-3692
F A X	0742-20-3205
e-mail	hyoka@jimu.nara-wu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。



# 目次

人間文化総合科学研究科

＜生活環境科学専攻（博士後期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	51
7. その他全般的事項	53



# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 奈良女子大学

## (2) 大学名

奈良女子大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒630-8506

奈良県奈良市北魚屋西町（奈良県奈良市北魚屋東町）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(イマオカ ハルキ) 今岡 春樹 (平成29年4月)		
研究科長	(タカダ マサシ) 高田 将志 (令和2年4月)		
専攻長	(クロス ヒロミチ) 黒子 弘道 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。  
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)  
令和2年度に報告する内容 → (2)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
人間文化総合科学研究科 生活環境科学専攻 (博士後期課程) 博士(理学) 博士(社会科学) 博士(生活環境学) 博士(情報科学) 博士(学術)	文学関係 社会学・社会福祉学 関係 理学関係 家政関係 体育関係	3 年	14 人	42 人	基礎となる学部等  食栄養学専攻(博士前期課程) 心身健康学専攻(博士前期課程) 情報衣環境学専攻(博士前期課程) 住環境学専攻(博士前期課程) 生活文化学専攻(博士前期課程)

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A	入学定員	14 ( - ) [ - ]						0.35 倍	
	志願者数	5 ( - ) [ 3 ]							
	受験者数	5 ( - ) [ 3 ]							
	合格者数	5 ( - ) [ 3 ]							
B	入学者数	5 ( - ) [ 3 ]							
	入学定員超過率 B/A	0.35							

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	令和2年度		令和2年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	5 [ 3 ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次	/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	
4年次	/		/		/		
計	5 [ 3 ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	

・ 令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	5人	0人	令和2年度	0人	0人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合計		0人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



2 授業科目の概要

<人間文化総合科学研究科 生活環境科学専攻(博士後期課程)>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

Table with 11 columns: 科目区分, 授業科目の名称, 配当年次, 単位数 (必修, 選択, 自由), 専任教員等の配置 (教授, 准教授, 講師, 助教, 助手), 兼任・兼任. Rows include 共生科学セミナー, 古代学・聖地学, ジェンダー学, キャリア形成, and 人間形成思想史論.

【令和2年度】

Table with 11 columns: 科目区分, 授業科目の名称, 配当年次, 単位数 (必修, 選択, 自由), 専任教員等の配置 (教授, 准教授, 講師, 助教, 助手), 兼任・兼任. Rows include 共生科学セミナー (未開講), 古代学・聖地学, ジェンダー学, キャリア形成, and 人間形成思想史論.







論文等作成群	家族社会学	1・2・3前	2			1															
	家族社会学演習	1・2・3後	2			1															
	ジェンダー理論	1・2・3前	2																	1	
	国際ジェンダー開発論	1・2・3前	2																	1	
	小計(14科目)	—	0	28	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	食物栄養学	博士論文執筆指導	1～3通	2			6	2													
	小計(1科目)	—	2	0	0	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	心身健康学	博士論文執筆指導	1～3通	2			6	2	1												
	小計(1科目)	—	2	0	0	6	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	情報環境学	博士論文執筆指導	1～3通	2			2	3													
	小計(1科目)	—	2	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	住環境学	博士論文執筆指導	1～3通	2			2	4													
	小計(1科目)	—	2	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活文化学	博士論文執筆指導	1～3通	2			2	1													
小計(1科目)	—	2	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計(345目)	—	11	536	0	20	18	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	86	

卒業要件及び履修方法

【専修系】論文等作成群、専門科目群の必修科目から3単位(「博士論文執筆指導」(2単位)、「研究倫理・研究マネジメント」(1単位))、専門科目群の選択科目から6単位以上、大学院共通科目群や複合系プログラム科目群の中から1単位以上を含み、合計12単位以上を履修し、必要な研究指導を受けた上で博士論文の審査及び最終試験に合格することが修了要件となる。  
【複合系】論文等作成群、専門科目群の必修科目から3単位(「博士論文執筆指導」(2単位)、「研究倫理・研究マネジメント」(1単位))、専門科目群の選択科目から3単位以上、複合系プログラム毎に指定された大学院共通科目や複合系プログラム科目の中から4単位以上を含み、合計12単位以上を履修し、必要な研究指導を受けた上で博士論文の審査及び最終試験に合格することが修了要件となる。  
なお、専門科目群の必修科目「研究倫理・研究マネジメント(1単位)」は、原則として1年次に履修しなければならない。

論文等作成群	家族社会学(未開講)	1・2・3前	2			1															
	家族社会学演習	1・2・3後	2			1															
	ジェンダー理論	1・2・3後	2																		1
	国際ジェンダー開発論	1・2・3前	2																		1
	小計(14科目)	—	0	28	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	食物栄養学	博士論文執筆指導(未開講)	1～3通	2			6	2													
	小計(1科目)	—	2	0	0	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	心身健康学	博士論文執筆指導(未開講)	1～3通	2			6	2	1												
	小計(1科目)	—	2	0	0	6	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	情報環境学	博士論文執筆指導(未開講)	1～3通	2			2	3													
	小計(1科目)	—	2	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	住環境学	博士論文執筆指導(未開講)	1～3通	2			2	4													
	小計(1科目)	—	2	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活文化学	博士論文執筆指導(未開講)	1～3通	2			3	0													
小計(1科目)	—	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計(345目)	—	11	536	0	22	16	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	86	

卒業要件及び履修方法

【専修系】論文等作成群、専門科目群の必修科目から3単位(「博士論文執筆指導」(2単位)、「研究倫理・研究マネジメント」(1単位))、専門科目群の選択科目から6単位以上、大学院共通科目群や複合系プログラム科目群の中から1単位以上を含み、合計12単位以上を履修し、必要な研究指導を受けた上で博士論文の審査及び最終試験に合格することが修了要件となる。  
【複合系】論文等作成群、専門科目群の必修科目から3単位(「博士論文執筆指導」(2単位)、「研究倫理・研究マネジメント」(1単位))、専門科目群の選択科目から3単位以上、複合系プログラム毎に指定された大学院共通科目や複合系プログラム科目の中から4単位以上を含み、合計12単位以上を履修し、必要な研究指導を受けた上で博士論文の審査及び最終試験に合格することが修了要件となる。  
なお、専門科目群の必修科目「研究倫理・研究マネジメント(1単位)」は、原則として1年次に履修しなければならない。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担当教員の昇任により、「ジェンダー学セミナーA」、「ジェンダー学セミナーB」、「ジェンダー学セミナーC」、「ジェンダー学特別演習A」、「ジェンダー学特別演習B」、「ジェンダー学特別演習C」、「ジェンダー表象論」、「ジェンダー表象論演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に、また、生活文化学講座の「博士論文執筆指導」を「教授2、准教授1」から「教授3、准教授0」に変更。</li> <li>・ 担当教員の昇任により、「運動生理論」、「運動生理論演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。</li> <li>・ 担当教員のサバティカル研修により、「日本生活史論演習」を「後期」から「前期」に変更。</li> <li>・ 担当教員のサバティカル研修により、「言語表現論」を「前期」から「後期」に変更。</li> <li>・ 担当教員のサバティカル研修により、「人間形成思想史論」を「前期」から「後期」に変更。</li> <li>・ 担当教員から「生活環境バイオセーフティ制御論」と同時履修すれば有意な学習効果を期待できるため、「生活環境バイオセーフティ制御論演習」を「後期」から「前期」に変更。</li> <li>・ 担当教員から新型コロナの影響のため、「ジェンダー理論」を「前期」から「後期」に変更。</li> <li>・ 担当教員から基盤のアジア・ジェンダー文化研究センターの年間スケジュールに合わせて後期開講が望ましいと、「ジェンダー学セミナーA」を「前期」から「後期」に変更。</li> </ul>
---

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
6	339	0	345	6	339	0	345	
	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
				[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{345} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 その他には附属学校等敷地を含む。			
	校舎敷地	66,081㎡	0㎡	0㎡	66,081㎡				
	運動場用地	10,179㎡	0㎡	0㎡	10,179㎡				
	小 計	76,260㎡	0㎡	0㎡	76,260㎡				
	そ の 他	104,050㎡	0㎡	0㎡	104,050㎡				
	合 計	180,310㎡	0㎡	0㎡	180,310㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
		59,605㎡ ( 59,605㎡)	0㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	59,605㎡ ( 59,605㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	他に、大学全体の共用教室を利用。		
		6室	10室	44室	0室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		人間文化総合科学研究科 生活環境科学専攻（博士後期課程）			76 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	専攻単位での特定が不能なため、大学全体の数 図書等の新規受入並びに廃棄のため（元）	
	人間文化総合科学研究科 人文科学専攻 （博士後期課程）	588,202[160,646] (581,943[159,984])	18,387[6,465] (18,179[6,345])	3,788[3,788] (3,752[3,752])	11,174 (11,114)	1,454 1,453 (1,454) -(1,453)	161 162 ( 161 ) (-162)		
	計	588,202[160,646] (581,943[159,984])	18,387[6,465] (18,179[6,345])	3,788[3,788] (3,752[3,752])	11,174 (11,114)	1,454 1,453 (1,454) -(1,453)	161 162 ( 161 ) (-162)		
(6) 図 書 館		面 積	閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
		4,523㎡	163 154		496,556 488,253		什器の新規購入のため（元）		
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
		1,822㎡	テニスコート3面		弓道場				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	—	—	図書購入費	—	—	—	
		共同研究費等	—	—	設備購入費	—	—	—	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		—	—	—	—	—	—		
学生納付金以外の維持方法の概要			—						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。





4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	奈良女子大学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	
<学部>										
文学部						1.07	1.03	昭和24	奈良県奈良市 北魚屋西町	学部で一括募集 しているため、 学科別入学者数 は定員で按分し 算出している。
人文社会学科	4	60		240	学士(文学)	-	1.03	平成7		
言語文化学科	4	50		200	学士(文学)	-	1.03	平成7		
人間科学科	4	40		160	学士(文学)	-	1.03	平成7		
			3年次							
(学部共通)			16	32		-	-			
理学部						1.10	1.07	昭和28	奈良県奈良市 北魚屋西町	
数物科学科	4	63		252	学士(理学)	1.07	1.04	平成26		
化学生物環境学科	4	87		348	学士(理学)	1.11	1.09	平成26		
物理科学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	-	平成8	平成26年度から 学生募集停止	
			3年次							
(学部共通)			10	20		-	-			
生活環境学部						1.07	1.04	平成5	奈良県奈良市 北魚屋西町	
食物栄養学科	4	35	-	140	学士(生活環境学)	1.08	1.08	平成17		
心身健康学科	4	40		160	学士(生活環境学)	1.08	1.00	平成26		
情報衣環境学科	4	35		140	学士(生活環境学)	1.09	1.02	平成26		
住環境学科	4	35		140	学士(生活環境学)	1.05	1.08	平成18		
生活文化学科	4	30		120	学士(生活環境学)	1.04	1.00	平成18		
			3年次							
(学部共通) (食物栄養学除く)			14	28		-	-			
大学全体	4	475	40	1980		-	1.04			
<大学院>										
人間文化総合科学研究科								昭和56		令和2年度から 名称変更
人文社会学専攻 (博士前期課程)	2	24	-	48	修士(文学) 修士(学術)	0.55	0.45	平成10	奈良県奈良市 北魚屋西町	
言語文化学専攻 (博士前期課程)	2	18	-	36	修士(文学) 修士(学術)	0.30	0.33	平成10		
人間科学専攻 (博士前期課程)	2	12	-	24	修士(文学) 修士(学術)	0.74	0.91	平成30		
食物栄養学専攻 (博士前期課程)	2	13	-	26	修士(学術) 修士(生活環境) 修士(家政学)	0.76	0.92	平成19		
心身健康学専攻 (博士前期課程)	2	22	-	44	修士(学術) 修士(生活環境) 修士(家政学)	0.81	0.81	平成30		

情報衣環境学専攻 (博士前期課程)	2	10	-	20	修士(学術) 修士(生活環境) 修士(家政学)	0.80	1.10	平成30
生活工学共同専攻 (博士前期課程)	2	7	-	14	修士(生活工学) 修士(工学) 修士(学術)	1.21	1.42	平成28
住環境学専攻 (博士前期課程)	2	13	-	26	修士(学術) 修士(生活環境) 修士(家政学)	1.76	1.69	平成19
生活文化学専攻 (博士前期課程)	2	9	-	18	修士(学術) 修士(生活環境) 修士(家政学)	0.38	0.33	平成19
数物科学専攻 (博士前期課程)	2	28	-	56	修士(理学) 修士(学術)	1.21	1.17	平成30
化学生物環境学専攻 (博士前期課程)	2	42	-	84	修士(理学) 修士(学術)	1.13	1.23	平成30
大学院全体 (博士前期課程)	2	198		396		-	0.94	
人文科学専攻 (博士後期課程)	3	12	-	36	博士(文学) 博士(社会科学) 博士(学術)	0.41	0.41	令和2
生活環境科学専攻 (博士後期課程)	3	14	-	42	博士(理学) 博士(社会科学) 博士(生活環境学) 博士(情報科学) 博士(学術)	0.35	0.35	令和2
自然科学専攻 (博士後期課程)	3	10	-	30	博士(理学) 博士(学術)	0.50	0.50	令和2
生活工学共同専攻 (博士後期課程)	3	2	-	6	博士(生活工学) 博士(工学) 博士(学術)	1.33	0.50	平成28
大学院全体 (博士後期課程)	3	38		114		-	0.42	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

## 5 教員組織の状況

<人間文化総合科学研究科 生活環境科学専攻（博士後期課程）>

### (1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	伊藤(西川)美奈子 ( ) <令和2年4月> 博士(教育学)
		教育臨床論 教育臨床論演習 博士論文執筆指導
専	教授	井上 裕康 ( ) <令和2年4月> 医学博士
		分子栄養論 分子栄養論演習 博士論文執筆指導
専	教授	井上 洋一 ( ) <令和2年4月> 体育学 修士
		スポーツ法制論 スポーツ法制論演習
専	教授	岡本 英生 ( ) <令和2年4月> 博士(学術)
		犯罪原因論 犯罪原因論演習 博士論文執筆指導

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	伊藤(西川)美奈子 ( ) <令和2年4月> 博士(教育学)
		教育臨床論 教育臨床論演習 博士論文執筆指導
専	教授	井上 裕康 ( ) <令和2年4月> 医学博士
		分子栄養論 分子栄養論演習 博士論文執筆指導
専	教授	井上 洋一 ( ) <令和2年4月> 体育学 修士
		スポーツ法制論 スポーツ法制論演習
専	教授	岡本 英生 ( ) <令和2年4月> 博士(学術)
		犯罪原因論 犯罪原因論演習 博士論文執筆指導

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	カウ ヤリ 小倉 裕範 ( ) <令和2年4月> 博士(医学)
		食と病態論 食と病態論演習 博士論文執筆指導
専	教授	キザキ ヒロ 菊崎 泰枝 ( ) <令和2年4月> 生活科学博士
		分子食品・調理科学特論 分子食品・調理科学特論演習 博士論文執筆指導
専	教授	コマヤ(アソホ)ショウイチ 駒谷(足穂)昇一 ( ) <令和2年4月> 工学士
		実践プロジェクトマネジメント特論 実践プロジェクトマネジメント特論演習 生活情報通信科学特論※ 生活情報通信科学特論演習※
専	教授	シバサ マサ 芝崎 学 ( ) <令和2年4月> 博士(学術)
		研究倫理・研究マネジメント※ 温熱生理学 温熱生理学演習 博士論文執筆指導

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	カウ ヤリ 小倉 裕範 ( ) <令和2年4月> 博士(医学)
		食と病態論 食と病態論演習 博士論文執筆指導
専	教授	キザキ ヒロ 菊崎 泰枝 ( ) <令和2年4月> 生活科学博士
		分子食品・調理科学特論 分子食品・調理科学特論演習 博士論文執筆指導
専	教授	コマヤ(アソホ)ショウイチ 駒谷(足穂)昇一 ( ) <令和2年4月> 工学士
		実践プロジェクトマネジメント特論 実践プロジェクトマネジメント特論演習 生活情報通信科学特論※ 生活情報通信科学特論演習※
専	教授	シバサ マサ 芝崎 学 ( ) <令和2年4月> 博士(学術)
		研究倫理・研究マネジメント※ 温熱生理学 温熱生理学演習 博士論文執筆指導

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ジヨウ カキ 城 和貴 ( ) <令和2年4月> 博士(工学)
		研究倫理・研究マネジメント※ ライフコンピューティング特論 ライフコンピューティング特論演習 生活情報通信科学特論※ 生活情報通信科学特論演習※ 博士論文執筆指導
専	教授	スズキ(ヨコタ)ノコ 鈴木(横田)則子 ( ) <令和2年4月> 博士(学術)
		日本生活史論 日本生活史論演習 博士論文執筆指導
専	教授	タカ リベカ 高地 リベカ ( ) <令和2年4月> 博士(医学)
		疫学特論 疫学特論演習 博士論文執筆指導
専	教授	タマガキ アキラ 鷹股 亮 ( ) <令和2年4月> 博士(医学)
		環境適応生理学 環境適応生理学演習 博士論文執筆指導

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ジヨウ カキ 城 和貴 ( ) <令和2年4月> 博士(工学)
		研究倫理・研究マネジメント※ ライフコンピューティング特論 ライフコンピューティング特論演習 生活情報通信科学特論※ 生活情報通信科学特論演習※ 博士論文執筆指導
専	教授	スズキ(ヨコタ)ノコ 鈴木(横田)則子 ( ) <令和2年4月> 博士(学術)
		日本生活史論 日本生活史論演習 博士論文執筆指導
専	教授	タカ リベカ 高地 リベカ ( ) <令和2年4月> 博士(医学)
		疫学特論 疫学特論演習 博士論文執筆指導
専	教授	タマガキ アキラ 鷹股 亮 ( ) <令和2年4月> 博士(医学)
		環境適応生理学 環境適応生理学演習 博士論文執筆指導

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高村 仁知 ( ) <令和2年4月> 農学博士
		共生科学セミナーA【2年おきに開講】 共生科学セミナーB【2年おきに開講】 共生科学セミナーC【2年おきに開講】 共生科学特別演習A【2年おきに開講】 共生科学特別演習B【2年おきに開講】 共生科学特別演習C【2年おきに開講】 食生活素材機器分析論 食生活素材機器分析論演習 博士論文執筆指導
専	教授	中山 徹 ( ) <令和2年4月> 工学博士
		地域計画制度・政策論 地域計画制度・政策論演習 博士論文執筆指導
専	教授	成瀬 九美 ( ) <令和2年4月> 博士(学術)
		リズム表現行動論 リズム表現行動論演習 博士論文執筆指導
専	教授	根本 哲夫 ( ) <令和2年4月> 博士(学術)
		景観形成過程論 景観形成過程論演習 博士論文執筆指導

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高村 仁知 ( ) <令和2年4月> 農学博士
		共生科学セミナーA【2年おきに開講】 共生科学セミナーB【2年おきに開講】 共生科学セミナーC【2年おきに開講】 共生科学特別演習A【2年おきに開講】 共生科学特別演習B【2年おきに開講】 共生科学特別演習C【2年おきに開講】 食生活素材機器分析論 食生活素材機器分析論演習 博士論文執筆指導
専	教授	中山 徹 ( ) <令和2年4月> 工学博士
		地域計画制度・政策論 地域計画制度・政策論演習 博士論文執筆指導
専	教授	成瀬 九美 ( ) <令和2年4月> 博士(学術)
		リズム表現行動論 リズム表現行動論演習 博士論文執筆指導
専	教授	根本 哲夫 ( ) <令和2年4月> 博士(学術)
		景観形成過程論 景観形成過程論演習 博士論文執筆指導

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ノダ タカシ 野田 隆 ( ) <令和2年4月> 博士(人間科学)
		災害社会学 災害社会学演習 博士論文執筆指導
専	教授	フジワラ モトコ 藤原 素子 ( ) <令和2年4月> 医学博士
		身体運動制御学論 身体運動制御学論演習 博士論文執筆指導
専	教授	マツダ サトル 松田 覚 ( ) <令和2年4月> 医学博士
		研究倫理・研究マネジメント※ 分子食医化学 分子食医化学演習 博士論文執筆指導
専	教授	マツモト タカシ 松本 尚 ( ) <令和2年4月> 博士(理学)
		先端コンピュータシステム特論 先端コンピュータシステム特論演習 生活情報通信科学特論※ 生活情報通信科学特論演習※ 博士論文執筆指導

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ノダ タカシ 野田 隆 ( ) <令和2年4月> 博士(人間科学)
		災害社会学 災害社会学演習 博士論文執筆指導
専	教授	フジワラ モトコ 藤原 素子 ( ) <令和2年4月> 医学博士
		身体運動制御学論 身体運動制御学論演習 博士論文執筆指導
専	教授	マツダ サトル 松田 覚 ( ) <令和2年4月> 医学博士
		研究倫理・研究マネジメント※ 分子食医化学 分子食医化学演習 博士論文執筆指導
専	教授	マツモト タカシ 松本 尚 ( ) <令和2年4月> 博士(理学)
		先端コンピュータシステム特論 先端コンピュータシステム特論演習 生活情報通信科学特論※ 生活情報通信科学特論演習※ 博士論文執筆指導

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	アノウ(カセ)カリ 安藤(長瀬)香織 ( ) <令和2年4月> 博士(心理学)
		研究倫理・研究マネジメント※ 環境社会心理学 環境社会心理学演習
専	准教授	イザカ ヲウジ 石坂 友司 ( ) <令和2年4月> 博士(体育科学)
		スポーツ社会論 スポーツ社会論演習
専	准教授	マツカ ヒロシ 大塚 浩 ( ) <令和2年4月> 修士(法学)※
		リーガルサービス論 リーガルサービス論演習
専	准教授	カニ ヒロユキ 鴨 浩靖 ( ) <令和2年4月> 博士(情報学)
		計算複雑性理論 計算複雑性理論演習 生活情報通信科学特論※ 生活情報通信科学特論演習※ 博士論文執筆指導

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	アノウ(カセ)カリ 安藤(長瀬)香織 ( ) <令和2年4月> 博士(心理学)
		研究倫理・研究マネジメント※ 環境社会心理学 環境社会心理学演習
専	准教授	イザカ ヲウジ 石坂 友司 ( ) <令和2年4月> 博士(体育科学)
		スポーツ社会論 スポーツ社会論演習
専	准教授	マツカ ヒロシ 大塚 浩 ( ) <令和2年4月> 修士(法学)※
		リーガルサービス論 リーガルサービス論演習
専	准教授	カニ ヒロユキ 鴨 浩靖 ( ) <令和2年4月> 博士(情報学)
		計算複雑性理論 計算複雑性理論演習 生活情報通信科学特論※ 生活情報通信科学特論演習※ 博士論文執筆指導



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	カカ(カ)ミコ 黒川(長田)嘉子 ( ) <令和2年4月> 博士(教育学)
		発達臨床心理学論 発達臨床心理学論演習 博士論文執筆指導
専	准教授	サタ 加 澤田 佳世 ( ) <令和2年4月> 博士(国際関係学)
		家族社会学 家族社会学演習
専	准教授	タノ アツ 瀧野 敦夫 ( ) <令和2年4月> 博士(工学)
		木質構造解析論 木質構造解析論演習 博士論文執筆指導
専	准教授	ナカ ヒサ 中田 大貴 ( ) <令和2年4月> 博士(理学)
		運動心理学 運動心理学演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	カカ(カ)ミコ 黒川(長田)嘉子 ( ) <令和2年4月> 博士(教育学)
		発達臨床心理学論 発達臨床心理学論演習 博士論文執筆指導
専	准教授	サタ 加 澤田 佳世 ( ) <令和2年4月> 博士(国際関係学)
		家族社会学 家族社会学演習
専	准教授	タノ アツ 瀧野 敦夫 ( ) <令和2年4月> 博士(工学)
		木質構造解析論 木質構造解析論演習 博士論文執筆指導
専	准教授	ナカ ヒサ 中田 大貴 ( ) <令和2年4月> 博士(理学)
		運動心理学 運動心理学演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	ナカノ リコ 中田 理恵子 ( ) <令和2年4月> 学術博士
		代謝制御学 代謝制御学演習 博士論文執筆指導
専	准教授	ニノウ ナホキ 新出 尚之 ( ) <令和2年4月> 博士(情報科学)
		知識情報システム特論 知識情報システム特論演習 生活情報通信科学特論※ 生活情報通信科学特論演習※ 博士論文執筆指導
専	准教授	ハラダ マサミ 原田 雅史 ( ) <令和2年4月> 博士(工学)
		アパレル管理論 アパレル管理論演習 衣環境学特論 衣環境学特論演習 博士論文執筆指導
専	准教授	ホシノ サトコ 星野 聡子 ( ) <令和2年4月> 博士(人間科学)
		運動生理論 運動生理論演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	ナカノ リコ 中田 理恵子 ( ) <令和2年4月> 学術博士
		代謝制御学 代謝制御学演習 博士論文執筆指導
専	准教授	ニノウ ナホキ 新出 尚之 ( ) <令和2年4月> 博士(情報科学)
		知識情報システム特論 知識情報システム特論演習 生活情報通信科学特論※ 生活情報通信科学特論演習※ 博士論文執筆指導
専	准教授	ハラダ マサミ 原田 雅史 ( ) <令和2年4月> 博士(工学)
		アパレル管理論 アパレル管理論演習 衣環境学特論 衣環境学特論演習 博士論文執筆指導
専	教授	ホシノ サトコ 星野 聡子 ( ) <令和2年4月> 博士(人間科学)
		運動生理論 運動生理論演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	マダ スミオ 前田 純夫 ( ) <令和2年4月> 農学博士
		生活環境バイオセーフティ制御論 生活環境バイオセーフティ制御論演習 博士論文執筆指導
専	准教授	ムロサキ(イナ)チ 室崎(稲地)千重 ( ) <令和2年4月> 博士(工学)
		住様式論 住様式論演習 博士論文執筆指導
専	准教授	ヤマサキ アキコ 山崎 明子 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		ジェンダー学セミナーA【2年おきに開講】 ジェンダー学セミナーB【2年おきに開講】 ジェンダー学セミナーC【2年おきに開講】 ジェンダー学特別演習A【2年おきに開講】 ジェンダー学特別演習B【2年おきに開講】 ジェンダー学特別演習C【2年おきに開講】 ジェンダー表象論 ジェンダー表象論演習 博士論文執筆指導
専	准教授	ヤマモト ナヒコ 山本 直彦 ( ) <令和2年4月> 博士(工学)
		居住環境整備論 居住環境整備論演習 博士論文執筆指導

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	マダ スミオ 前田 純夫 ( ) <令和2年4月> 農学博士
		生活環境バイオセーフティ制御論 生活環境バイオセーフティ制御論演習 博士論文執筆指導
専	准教授	ムロサキ(イナ)チ 室崎(稲地)千重 ( ) <令和2年4月> 博士(工学)
		住様式論 住様式論演習 博士論文執筆指導
専	教授	ヤマサキ アキコ 山崎 明子 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		ジェンダー学セミナーA【2年おきに開講】 ジェンダー学セミナーB【2年おきに開講】 ジェンダー学セミナーC【2年おきに開講】 ジェンダー学特別演習A【2年おきに開講】 ジェンダー学特別演習B【2年おきに開講】 ジェンダー学特別演習C【2年おきに開講】 ジェンダー表象論 ジェンダー表象論演習 博士論文執筆指導
専	准教授	ヤマモト ナヒコ 山本 直彦 ( ) <令和2年4月> 博士(工学)
		居住環境整備論 居住環境整備論演習 博士論文執筆指導

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	ヨシダ シンジ 吉田 伸治 ( ) ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		研究倫理・研究マネジメント※ 生気象論 生気象論演習 博士論文執筆指導
専	准教授	ヨシモト(ニシカ) ミサ 吉本(西岡) 光佐 ( ) ＜令和2年4月＞ 博士(生活環境学)
		自律神経学 自律神経学演習 博士論文執筆指導
専	講師	ウメグチ ユウスケ 梅垣 佑介 ( ) ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		認知・行動理論 認知・行動理論演習 博士論文執筆指導
専	講師	タカタ マチ 高田 雅美 ( ) ＜令和2年4月＞ 博士(理学)
		ハイパフォーマンスコンピューティング特論 ハイパフォーマンスコンピューティング特論演習 生活情報通信科学特論※ 生活情報通信科学特論演習※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	ヨシダ シンジ 吉田 伸治 ( ) ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		研究倫理・研究マネジメント※ 生気象論 生気象論演習 博士論文執筆指導
専	准教授	ヨシモト(ニシカ) ミサ 吉本(西岡) 光佐 ( ) ＜令和2年4月＞ 博士(生活環境学)
		自律神経学 自律神経学演習 博士論文執筆指導
専	講師	ウメグチ ユウスケ 梅垣 佑介 ( ) ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		認知・行動理論 認知・行動理論演習 博士論文執筆指導
専	講師	タカタ マチ 高田 雅美 ( ) ＜令和2年4月＞ 博士(理学)
		ハイパフォーマンスコンピューティング特論 ハイパフォーマンスコンピューティング特論演習 生活情報通信科学特論※ 生活情報通信科学特論演習※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	アマガセ マサヒロ 天ヶ瀬 正博 ( ) <令和2年4月> 文学修士※
		認知心理学論 認知心理学論演習
兼任	教授	イザキ ケンジ 石崎 研二 ( ) <令和2年4月> 博士(理学)
		地域情報解析論 地域情報解析論演習
兼任	教授	ウチダ タロウ 内田 忠賢 ( ) <令和2年4月> 修士(文学)
		歴史文化地理学 歴史文化地理学演習
兼任	教授	オホira サチ 大平 幸代 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		中国言語文化分析論 中国言語文化分析論演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	アマガセ マサヒロ 天ヶ瀬 正博 ( ) <令和2年4月> 文学修士※
		認知心理学論 認知心理学論演習
兼任	教授	イザキ ケンジ 石崎 研二 ( ) <令和2年4月> 博士(理学)
		地域情報解析論 地域情報解析論演習
兼任	教授	ウチダ タロウ 内田 忠賢 ( ) <令和2年4月> 修士(文学)
		歴史文化地理学 歴史文化地理学演習
兼任	教授	オホira サチ 大平 幸代 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		中国言語文化分析論 中国言語文化分析論演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	カワノヒコ 小川 伸彦 ( ) ＜令和2年4月＞ 社会学修士※
		文化社会学 文化社会学演習
兼任	教授	オムラカミ 奥村 和美 ( ) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		古代学・聖地学セミナーA【2年おきに開講】 古代学・聖地学セミナーB【2年おきに開講】 古代学・聖地学セミナーC【2年おきに開講】 古代学・聖地学特別演習A【2年おきに開講】 古代学・聖地学特別演習B【2年おきに開講】 古代学・聖地学特別演習C【2年おきに開講】 日本古代中世文学論 日本古代中世文学論演習
兼任	教授	カヅワサシ 鍵和田 聡 ( ) ＜令和2年4月＞ 理学博士
		生体膜構造・機能論Ⅰ 生体膜構造・機能論Ⅱ 生体膜構造・機能論演習Ⅰ 生体膜構造・機能論演習Ⅱ
兼任	教授	カヅワカシ 梶原 孝志 ( ) ＜令和2年4月＞ 博士(理学)
		金属錯体固体物性論Ⅰ 金属錯体固体物性論Ⅱ 金属錯体固体物性論演習Ⅰ 金属錯体固体物性論演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	カワノヒコ 小川 伸彦 ( ) ＜令和2年4月＞ 社会学修士※
		文化社会学 文化社会学演習
兼任	教授	オムラカミ 奥村 和美 ( ) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		古代学・聖地学セミナーA【2年おきに開講】 古代学・聖地学セミナーB【2年おきに開講】 古代学・聖地学セミナーC【2年おきに開講】 古代学・聖地学特別演習A【2年おきに開講】 古代学・聖地学特別演習B【2年おきに開講】 古代学・聖地学特別演習C【2年おきに開講】 日本古代中世文学論 日本古代中世文学論演習
兼任	教授	カヅワサシ 鍵和田 聡 ( ) ＜令和2年4月＞ 理学博士
		生体膜構造・機能論Ⅰ 生体膜構造・機能論Ⅱ 生体膜構造・機能論演習Ⅰ 生体膜構造・機能論演習Ⅱ
兼任	教授	カヅワカシ 梶原 孝志 ( ) ＜令和2年4月＞ 博士(理学)
		金属錯体固体物性論Ⅰ 金属錯体固体物性論Ⅱ 金属錯体固体物性論演習Ⅰ 金属錯体固体物性論演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	加力 ヤ効 片岡 靖隆 ( ) <令和2年4月> 博士(工学)
		機能性分子変換論Ⅰ 機能性分子変換論Ⅱ 機能性分子変換論演習Ⅰ 機能性分子変換論演習Ⅱ
兼任	教授	キカワ ケン 衣川 健一 ( ) <令和2年4月> 工学博士
		機能分子集団理論化学Ⅰ 機能分子集団理論化学Ⅱ 機能分子集団理論化学演習Ⅰ 機能分子集団理論化学演習Ⅱ
兼任	教授	久保 ヒロ 久保 博子 ( ) <令和2年4月> 博士(学術)
		環境生理・心理論 環境生理・心理論演習
兼任	教授 (専攻長)	加入 ヒロミ 黒子 弘道 ( ) <令和2年4月> 工学博士
		繊維素材分子論 繊維素材分子論演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	加力 ヤ効 片岡 靖隆 ( ) <令和2年4月> 博士(工学)
		機能性分子変換論Ⅰ 機能性分子変換論Ⅱ 機能性分子変換論演習Ⅰ 機能性分子変換論演習Ⅱ
兼任	教授	キカワ ケン 衣川 健一 ( ) <令和2年4月> 工学博士
		機能分子集団理論化学Ⅰ 機能分子集団理論化学Ⅱ 機能分子集団理論化学演習Ⅰ 機能分子集団理論化学演習Ⅱ
兼任	教授	久保 ヒロ 久保 博子 ( ) <令和2年4月> 博士(学術)
		環境生理・心理論 環境生理・心理論演習
兼任	教授 (専攻長)	加入 ヒロミ 黒子 弘道 ( ) <令和2年4月> 工学博士
		繊維素材分子論 繊維素材分子論演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	サイトウ ミヲ 齊藤 美和 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		イギリス文学分析論 イギリス文学分析論演習
兼任	教授	サキ カズヒコ 佐伯 和彦 ( ) <令和2年4月> 理学博士
		生体機能制御論Ⅰ 生体機能制御論Ⅱ 生体機能制御論演習Ⅰ 生体機能制御論演習Ⅱ
兼任	教授	カウ アツシ 酒井 敦 ( ) <令和2年4月> 博士(理学)
		植物環境生理論Ⅰ 植物環境生理論Ⅱ 植物環境生理論演習Ⅰ 植物環境生理論演習Ⅱ
兼任	教授	カハラ ヤスオ 佐原 康夫 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		中国古代社会文化史論 中国古代社会文化史論演習 古代史学の諸問題演習※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	サイトウ ミヲ 齊藤 美和 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		イギリス文学分析論 イギリス文学分析論演習
兼任	教授	サキ カズヒコ 佐伯 和彦 ( ) <令和2年4月> 理学博士
		生体機能制御論Ⅰ 生体機能制御論Ⅱ 生体機能制御論演習Ⅰ 生体機能制御論演習Ⅱ
兼任	教授	カウ アツシ 酒井 敦 ( ) <令和2年4月> 博士(理学)
		植物環境生理論Ⅰ 植物環境生理論Ⅱ 植物環境生理論演習Ⅰ 植物環境生理論演習Ⅱ
兼任	教授	カハラ ヤスオ 佐原 康夫 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		中国古代社会文化史論 中国古代社会文化史論演習 古代史学の諸問題演習※



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	カ アミ 須賀 あゆみ ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		言語コミュニケーション論 言語コミュニケーション論演習
兼任	教授	ス キ コウ 鈴木 康史 ( ) <令和2年4月> 博士(体育科学)
		身体文化論 身体文化論演習
兼任	教授	ス キ ヒロミツ 鈴木 広光 ( ) <令和2年4月> 文学修士
		日本アジア言語分析論 日本アジア言語分析論演習
兼任	教授	タカ ナコ 高岡 尚子 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		ジェンダー学セミナーA【2年おきに開講】 ジェンダー学セミナーB【2年おきに開講】 ジェンダー学セミナーC【2年おきに開講】 ジェンダー学特別演習A【2年おきに開講】 ジェンダー学特別演習B【2年おきに開講】 ジェンダー学特別演習C【2年おきに開講】 フランス文学表現論 フランス文学表現論演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	カ アミ 須賀 あゆみ ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		言語コミュニケーション論 言語コミュニケーション論演習
兼任	教授	ス キ コウ 鈴木 康史 ( ) <令和2年4月> 博士(体育科学)
		身体文化論 身体文化論演習
兼任	教授	ス キ ヒロミツ 鈴木 広光 ( ) <令和2年4月> 文学修士
		日本アジア言語分析論 日本アジア言語分析論演習
兼任	教授	タカ ナコ 高岡 尚子 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		ジェンダー学セミナーA【2年おきに開講】 ジェンダー学セミナーB【2年おきに開講】 ジェンダー学セミナーC【2年おきに開講】 ジェンダー学特別演習A【2年おきに開講】 ジェンダー学特別演習B【2年おきに開講】 ジェンダー学特別演習C【2年おきに開講】 フランス文学表現論 フランス文学表現論演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	高須 夫悟 ( ) <令和2年4月> 博士(理学)
		数理生物学論Ⅰ 数理生物学論Ⅱ 数理生物学論演習Ⅰ 数理生物学論演習Ⅱ
兼任	教授	高田 将志 ( ) <令和2年4月> 理学修士※
		共生科学セミナーA【2年おきに開講】 共生科学セミナーB【2年おきに開講】 共生科学セミナーC【2年おきに開講】 共生科学特別演習A【2年おきに開講】 共生科学特別演習B【2年おきに開講】 共生科学特別演習C【2年おきに開講】 キャリアセミナー(ビジネススキル・インターン シップほか)A【隔年】 キャリアセミナー(ビジネススキル・インターン シップほか)B【隔年】 自己分析・ワークスタイルセミナーA【隔年】 自己分析・ワークスタイルセミナーB【隔年】 地域自然災害論 地域自然災害論演習
兼任	教授	竹本 憲昭 ( ) <令和2年4月> 文学修士
		アメリカ現代文学論 アメリカ現代文学論演習
兼任	教授	寺岡 伸悟 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		地域文化論 地域文化論演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	高須 夫悟 ( ) <令和2年4月> 博士(理学)
		数理生物学論Ⅰ 数理生物学論Ⅱ 数理生物学論演習Ⅰ 数理生物学論演習Ⅱ
兼任	教授	高田 将志 ( ) <令和2年4月> 理学修士※
		共生科学セミナーA【2年おきに開講】 共生科学セミナーB【2年おきに開講】 共生科学セミナーC【2年おきに開講】 共生科学特別演習A【2年おきに開講】 共生科学特別演習B【2年おきに開講】 共生科学特別演習C【2年おきに開講】 キャリアセミナー(ビジネススキル・インターン シップほか)A【隔年】 キャリアセミナー(ビジネススキル・インターン シップほか)B【隔年】 自己分析・ワークスタイルセミナーA【隔年】 自己分析・ワークスタイルセミナーB【隔年】 地域自然災害論 地域自然災害論演習
兼任	教授	竹本 憲昭 ( ) <令和2年4月> 文学修士
		アメリカ現代文学論 アメリカ現代文学論演習
兼任	教授	寺岡 伸悟 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		地域文化論 地域文化論演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	カヤマ ミチコ 中山 満子 ( ) <令和2年4月> 博士(人間科学)
		社会心理学 社会心理学演習
兼任	教授	ニシデ ヨシオ 西出 良郎 ( ) <令和2年4月> 文学修士
		イギリス文学表現論 イギリス文学表現論演習
兼任	教授	ニシムラ タカ 西村 拓生 ( ) <令和2年4月> 教育学修士
		人間形成思想史論 人間形成思想史論演習
兼任	教授	ニシヤチ セイジ 西谷地 晴美 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		古代学・聖地学セミナーA【2年おきに開講】 古代学・聖地学セミナーB【2年おきに開講】 古代学・聖地学セミナーC【2年おきに開講】 古代学・聖地学特別演習A【2年おきに開講】 古代学・聖地学特別演習B【2年おきに開講】 古代学・聖地学特別演習C【2年おきに開講】 日本中世社会文化史論 日本中世社会文化史論演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	カヤマ ミチコ 中山 満子 ( ) <令和2年4月> 博士(人間科学)
		社会心理学 社会心理学演習
兼任	教授	ニシデ ヨシオ 西出 良郎 ( ) <令和2年4月> 文学修士
		イギリス文学表現論 イギリス文学表現論演習
兼任	教授	ニシムラ タカ 西村 拓生 ( ) <令和2年4月> 教育学修士
		人間形成思想史論 人間形成思想史論演習
兼任	教授	ニシヤチ セイジ 西谷地 晴美 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		古代学・聖地学セミナーA【2年おきに開講】 古代学・聖地学セミナーB【2年おきに開講】 古代学・聖地学セミナーC【2年おきに開講】 古代学・聖地学特別演習A【2年おきに開講】 古代学・聖地学特別演習B【2年おきに開講】 古代学・聖地学特別演習C【2年おきに開講】 日本中世社会文化史論 日本中世社会文化史論演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	ノム アキ 野村 鮎子 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		中国言語文化伝承論 中国言語文化伝承論演習
兼任	教授	ハシ タケ 林 拓也 ( ) <令和2年4月> 修士(社会学)※
		計量社会学方法論 計量社会学方法論演習
兼任	教授	ハシダ (アマノ) サチコ 林田(天野)佐智子 ( ) <令和2年4月> 理学博士
		地球大気環境変動論Ⅰ 地球大気環境変動論Ⅱ 地球大気環境変動論演習Ⅰ 地球大気環境変動論演習Ⅱ
兼任	教授	フジイ ヒロシ 藤井 浩 ( ) <令和2年4月> 工学博士
		生体分子科学Ⅰ 生体分子科学Ⅱ 生体分子科学演習Ⅰ 生体分子科学演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	ノム アキ 野村 鮎子 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		中国言語文化伝承論 中国言語文化伝承論演習
兼任	教授	ハシ タケ 林 拓也 ( ) <令和2年4月> 修士(社会学)※
		計量社会学方法論 計量社会学方法論演習
兼任	教授	ハシダ (アマノ) サチコ 林田(天野)佐智子 ( ) <令和2年4月> 理学博士
		地球大気環境変動論Ⅰ 地球大気環境変動論Ⅱ 地球大気環境変動論演習Ⅰ 地球大気環境変動論演習Ⅱ
兼任	教授	フジイ ヒロシ 藤井 浩 ( ) <令和2年4月> 工学博士
		生体分子科学Ⅰ 生体分子科学Ⅱ 生体分子科学演習Ⅰ 生体分子科学演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	フジタメイジ 藤田 盟児 ( ) <令和2年4月> 博士(工学)
		空間・社会環境史論 空間・社会環境史論演習
兼任	教授	ミカウジ 三方 裕司 ( ) <令和2年4月> 理学博士
		生体反応設計論 I 生体反応設計論 II 生体反応設計論演習 I 生体反応設計論演習 II
兼任	教授	ミヅガキゲンタロウ 水垣 源太郎 ( ) <令和2年4月> 社会学修士※
		ジェンダー学セミナーA【2年おきに開講】 ジェンダー学セミナーB【2年おきに開講】 ジェンダー学セミナーC【2年おきに開講】 ジェンダー学特別演習A【2年おきに開講】 ジェンダー学特別演習B【2年おきに開講】 ジェンダー学特別演習C【2年おきに開講】 地域社会論 地域社会論演習
兼任	教授	ミヤジ(マルヤマ)アツコ 宮路(丸山)淳子 ( ) <令和2年4月> 博士(人間・環境学)
		先史考古学特論 先史考古学演習 古代史学の諸問題演習※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	フジタメイジ 藤田 盟児 ( ) <令和2年4月> 博士(工学)
		空間・社会環境史論 空間・社会環境史論演習
兼任	教授	ミカウジ 三方 裕司 ( ) <令和2年4月> 理学博士
		生体反応設計論 I 生体反応設計論 II 生体反応設計論演習 I 生体反応設計論演習 II
兼任	教授	ミヅガキゲンタロウ 水垣 源太郎 ( ) <令和2年4月> 社会学修士※
		ジェンダー学セミナーA【2年おきに開講】 ジェンダー学セミナーB【2年おきに開講】 ジェンダー学セミナーC【2年おきに開講】 ジェンダー学特別演習A【2年おきに開講】 ジェンダー学特別演習B【2年おきに開講】 ジェンダー学特別演習C【2年おきに開講】 地域社会論 地域社会論演習
兼任	教授	ミヤジ(マルヤマ)アツコ 宮路(丸山)淳子 ( ) <令和2年4月> 博士(人間・環境学)
		先史考古学特論 先史考古学演習 古代史学の諸問題演習※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	ムウ ヤヒロ 武藤 康弘 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		民族考古学特論 民族考古学演習
兼任	教授	ムラツ カコ 村松 加奈子 ( ) <令和2年4月> 博士(理学)
		共生科学セミナーA【2年おきに開講】 共生科学セミナーB【2年おきに開講】 共生科学セミナーC【2年おきに開講】 共生科学特別演習A【2年おきに開講】 共生科学特別演習B【2年おきに開講】 共生科学特別演習C【2年おきに開講】 地球陸域リモートセンシング論Ⅰ 地球陸域リモートセンシング論Ⅱ 地球陸域リモートセンシング論演習Ⅰ 地球陸域リモートセンシング論演習Ⅱ
兼任	教授	ヤギノ ヲコ 柳澤 有吾 ( ) <令和2年4月> 文学修士 ※
		思想文化論 思想文化論演習
兼任	教授	トウ ショウ 遊佐 陽一 ( ) <令和2年4月> 理学博士
		群集生態学論Ⅰ 群集生態学論Ⅱ 群集生態学論演習Ⅰ 群集生態学論演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	ムウ ヤヒロ 武藤 康弘 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		民族考古学特論 民族考古学演習
兼任	教授	ムラツ カコ 村松 加奈子 ( ) <令和2年4月> 博士(理学)
		共生科学セミナーA【2年おきに開講】 共生科学セミナーB【2年おきに開講】 共生科学セミナーC【2年おきに開講】 共生科学特別演習A【2年おきに開講】 共生科学特別演習B【2年おきに開講】 共生科学特別演習C【2年おきに開講】 地球陸域リモートセンシング論Ⅰ 地球陸域リモートセンシング論Ⅱ 地球陸域リモートセンシング論演習Ⅰ 地球陸域リモートセンシング論演習Ⅱ
兼任	教授	ヤギノ ヲコ 柳澤 有吾 ( ) <令和2年4月> 文学修士 ※
		思想文化論 思想文化論演習
兼任	教授	トウ ショウ 遊佐 陽一 ( ) <令和2年4月> 理学博士
		群集生態学論Ⅰ 群集生態学論Ⅱ 群集生態学論演習Ⅰ 群集生態学論演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	ヨシダ ヌヂ 吉田 孝夫 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		ドイツ文学表現論 ドイツ文学表現論演習
兼任	教授	ヨシダ ヨコ 吉田 容子 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		都市社会空間論 都市社会空間論演習
兼任	教授	ヨシムラ(サキウ)アキコ 吉村 あき子 (杉浦 哲子) ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		言語分析論 言語分析論演習
兼任	教授	ヨシムラ トモキ 吉村 倫一 ( ) <令和2年4月> 博士(工学)
		共生科学セミナーA【2年おきに開講】 共生科学セミナーB【2年おきに開講】 共生科学セミナーC【2年おきに開講】 共生科学特別演習A【2年おきに開講】 共生科学特別演習B【2年おきに開講】 共生科学特別演習C【2年おきに開講】 溶液ナノ化学Ⅰ 溶液ナノ化学Ⅱ 溶液ナノ化学演習Ⅰ 溶液ナノ化学演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	ヨシダ ヌヂ 吉田 孝夫 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		ドイツ文学表現論 ドイツ文学表現論演習
兼任	教授	ヨシダ ヨコ 吉田 容子 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		都市社会空間論 都市社会空間論演習
兼任	教授	ヨシムラ(サキウ)アキコ 吉村 あき子 (杉浦 哲子) ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		言語分析論 言語分析論演習
兼任	教授	ヨシムラ トモキ 吉村 倫一 ( ) <令和2年4月> 博士(工学)
		共生科学セミナーA【2年おきに開講】 共生科学セミナーB【2年おきに開講】 共生科学セミナーC【2年おきに開講】 共生科学特別演習A【2年おきに開講】 共生科学特別演習B【2年おきに開講】 共生科学特別演習C【2年おきに開講】 溶液ナノ化学Ⅰ 溶液ナノ化学Ⅱ 溶液ナノ化学演習Ⅰ 溶液ナノ化学演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	ワナヘ トヲ 渡邊 利雄 ( ) <令和2年4月> 理学博士
		細胞機能論Ⅰ 細胞機能論Ⅱ 細胞機能論演習Ⅰ 細胞機能論演習Ⅱ
兼任	准教授	アサダ ハルヒサ 浅田 晴久 ( ) <令和2年4月> 博士(地域研究)
		アジア自然環境論 アジア自然環境論演習
兼任	准教授	イハベ アツシ 磯部 敦 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		日本近世近代文学論 日本近世近代文学論演習
兼任	准教授	イノベ タカシ 井田 崇 ( ) <令和2年4月> 博士(環境科学)
		進化生態学論Ⅰ 進化生態学論Ⅱ 進化生態学演習Ⅰ 進化生態学演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	ワナヘ トヲ 渡邊 利雄 ( ) <令和2年4月> 理学博士
		細胞機能論Ⅰ 細胞機能論Ⅱ 細胞機能論演習Ⅰ 細胞機能論演習Ⅱ
兼任	准教授	アサダ ハルヒサ 浅田 晴久 ( ) <令和2年4月> 博士(地域研究)
		アジア自然環境論 アジア自然環境論演習
兼任	准教授	イハベ アツシ 磯部 敦 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		日本近世近代文学論 日本近世近代文学論演習
兼任	准教授	イノベ タカシ 井田 崇 ( ) <令和2年4月> 博士(環境科学)
		進化生態学論Ⅰ 進化生態学論Ⅱ 進化生態学演習Ⅰ 進化生態学演習Ⅱ



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	伊藤 シュウジ 狗巻 修司 ( ) <令和2年4月> 博士(福祉社会学)
		臨床発達心理学 臨床発達心理学演習
兼任	准教授	伊藤 シンイチ 岩口 伸一 ( ) <令和2年4月> 医学博士
		微生物ゲノム生物学論Ⅰ 微生物ゲノム生物学論Ⅱ 微生物ゲノム生物学論演習Ⅰ 微生物ゲノム生物学論演習Ⅱ
兼任	准教授	浦 康之 浦 康之 ( ) <令和2年4月> 博士(薬学)
		錯体触媒設計論Ⅰ 錯体触媒設計論Ⅱ 錯体触媒設計論演習Ⅰ 錯体触媒設計論演習Ⅱ
兼任	准教授	太田 ヤスヒト 太田 靖人 ( ) <令和2年4月> 博士(理学)
		複雑多分子系反応ダイナミクス特論Ⅰ 複雑多分子系反応ダイナミクス特論Ⅱ 複雑多分子系反応ダイナミクス特論演習Ⅰ 複雑多分子系反応ダイナミクス特論演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	伊藤 シュウジ 狗巻 修司 ( ) <令和2年4月> 博士(福祉社会学)
		臨床発達心理学 臨床発達心理学演習
兼任	准教授	伊藤 シンイチ 岩口 伸一 ( ) <令和2年4月> 医学博士
		微生物ゲノム生物学論Ⅰ 微生物ゲノム生物学論Ⅱ 微生物ゲノム生物学論演習Ⅰ 微生物ゲノム生物学論演習Ⅱ
兼任	准教授	浦 康之 浦 康之 ( ) <令和2年4月> 博士(薬学)
		錯体触媒設計論Ⅰ 錯体触媒設計論Ⅱ 錯体触媒設計論演習Ⅰ 錯体触媒設計論演習Ⅱ
兼任	准教授	太田 ヤスヒト 太田 靖人 ( ) <令和2年4月> 博士(理学)
		複雑多分子系反応ダイナミクス特論Ⅰ 複雑多分子系反応ダイナミクス特論Ⅱ 複雑多分子系反応ダイナミクス特論演習Ⅰ 複雑多分子系反応ダイナミクス特論演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	カガキ マキ 岡崎 真紀子 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		日本語文化分析論 日本語文化分析論演習
兼任	准教授	オマ シ 尾山 慎 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		日本語文化表現論 日本語文化表現論演習
兼任	准教授	カノ(トイ) イヰミ 片野(土居) 泉 ( ) <令和2年4月> 博士(理学)
		応用生態論 I 応用生態論 II 応用生態学演習 I 応用生態学演習 II
兼任	准教授	カカミ(フジイ) マユコ 河上(藤井) 麻由子 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		日本古代社会文化史論 日本古代社会文化史論演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	カガキ マキ 岡崎 真紀子 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		日本語文化分析論 日本語文化分析論演習
兼任	准教授	オマ シ 尾山 慎 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		日本語文化表現論 日本語文化表現論演習
兼任	准教授	カノ(トイ) イヰミ 片野(土居) 泉 ( ) <令和2年4月> 博士(理学)
		応用生態論 I 応用生態論 II 応用生態学演習 I 応用生態学演習 II
兼任	准教授	カカミ(フジイ) マユコ 河上(藤井) 麻由子 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		日本古代社会文化史論 日本古代社会文化史論演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	クジ マト 久慈 誠 ( ) <令和2年4月> 博士(理学)
		地球環境気象論Ⅰ 地球環境気象論Ⅱ 地球環境気象論演習Ⅰ 地球環境気象論演習Ⅱ
兼任	准教授	コノ ヒロキ 今野 弘章 ( ) <令和2年4月> 博士(言語学)
		言語表現論 言語表現論演習
兼任	准教授	カガチ シウイチ 坂口 修一 ( ) <令和2年4月> 理学博士
		植物形態形成調節論Ⅰ 植物形態形成調節論Ⅱ 植物形態形成調節論演習Ⅰ 植物形態形成調節論演習Ⅱ
兼任	准教授	サウ ヒロキ 佐藤 宏明 ( ) <令和2年4月> 学術博士
		生物多様性論Ⅰ 生物多様性論Ⅱ 生物多様性論演習Ⅰ 生物多様性論演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	クジ マト 久慈 誠 ( ) <令和2年4月> 博士(理学)
		地球環境気象論Ⅰ 地球環境気象論Ⅱ 地球環境気象論演習Ⅰ 地球環境気象論演習Ⅱ
兼任	准教授	コノ ヒロキ 今野 弘章 ( ) <令和2年4月> 博士(言語学)
		言語表現論 言語表現論演習
兼任	准教授	カガチ シウイチ 坂口 修一 ( ) <令和2年4月> 理学博士
		植物形態形成調節論Ⅰ 植物形態形成調節論Ⅱ 植物形態形成調節論演習Ⅰ 植物形態形成調節論演習Ⅱ
兼任	准教授	サウ ヒロキ 佐藤 宏明 ( ) <令和2年4月> 学術博士
		生物多様性論Ⅰ 生物多様性論Ⅱ 生物多様性論演習Ⅰ 生物多様性論演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	サウ(カワシマ)ユキ 佐藤(川島)有希子 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		日本アジア表徴文化論 日本アジア表徴文化論演習
兼任	准教授	スキウラ(マツオ)マミ 杉浦(松尾)真由美 ( ) <令和2年4月> 博士(理学)
		原生生物環境応答論Ⅰ 原生生物環境応答論Ⅱ 原生生物環境応答論演習Ⅰ 原生生物環境応答論演習Ⅱ
兼任	准教授	カシマ ヒロシ 高島 弘 ( ) <令和2年4月> 博士(工学)
		金属蛋白質設計論Ⅰ 金属蛋白質設計論Ⅱ 金属蛋白質設計論演習Ⅰ 金属蛋白質設計論演習Ⅱ
兼任	准教授	カハシ サトシ 高橋 智 ( ) <令和2年4月> 博士(理学)
		数理モデル解析論Ⅰ 数理モデル解析論Ⅱ 数理モデル解析論演習Ⅰ 数理モデル解析論演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	サウ(カワシマ)ユキ 佐藤(川島)有希子 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		日本アジア表徴文化論 日本アジア表徴文化論演習
兼任	准教授	スキウラ(マツオ)マミ 杉浦(松尾)真由美 ( ) <令和2年4月> 博士(理学)
		原生生物環境応答論Ⅰ 原生生物環境応答論Ⅱ 原生生物環境応答論演習Ⅰ 原生生物環境応答論演習Ⅱ
兼任	准教授	カシマ ヒロシ 高島 弘 ( ) <令和2年4月> 博士(工学)
		金属蛋白質設計論Ⅰ 金属蛋白質設計論Ⅱ 金属蛋白質設計論演習Ⅰ 金属蛋白質設計論演習Ⅱ
兼任	准教授	カハシ サトシ 高橋 智 ( ) <令和2年4月> 博士(理学)
		数理モデル解析論Ⅰ 数理モデル解析論Ⅱ 数理モデル解析論演習Ⅰ 数理モデル解析論演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	タナハチ ヲシ 竹内 孝江 ( ) <令和2年4月> 学術博士
		量子化学反応論Ⅰ 量子化学反応論Ⅱ 量子化学反応論演習Ⅰ 量子化学反応論演習Ⅱ
兼任	准教授	タハシ ヒロキ 竹橋 洋毅 ( ) <令和2年4月> 博士(心理学)
		教育心理学 教育心理学演習
兼任	准教授	ナカガワ リン 中川 千帆 ( ) <令和2年4月> PH. D. (米国)
		欧米比較文学論 欧米比較文学論演習
兼任	准教授	ナカジマ ヲシキ 中島 隆行 ( ) <令和2年4月> 博士(工学)
		集積型金属クラスター科学Ⅰ 集積型金属クラスター科学Ⅱ 集積型金属クラスター科学演習Ⅰ 集積型金属クラスター科学演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	タナハチ ヲシ 竹内 孝江 ( ) <令和2年4月> 学術博士
		量子化学反応論Ⅰ 量子化学反応論Ⅱ 量子化学反応論演習Ⅰ 量子化学反応論演習Ⅱ
兼任	准教授	タハシ ヒロキ 竹橋 洋毅 ( ) <令和2年4月> 博士(心理学)
		教育心理学 教育心理学演習
兼任	准教授	ナカガワ リン 中川 千帆 ( ) <令和2年4月> PH. D. (米国)
		欧米比較文学論 欧米比較文学論演習
兼任	准教授	ナカジマ ヲシキ 中島 隆行 ( ) <令和2年4月> 博士(工学)
		集積型金属クラスター科学Ⅰ 集積型金属クラスター科学Ⅱ 集積型金属クラスター科学演習Ⅰ 集積型金属クラスター科学演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	ナガミ 奈良 久美 ( ) <令和2年4月> 博士(理学)
		植物分子環境応答論Ⅰ 植物分子環境応答論Ⅱ 植物分子環境応答論演習Ⅰ 植物分子環境応答論演習Ⅱ
兼任	准教授	ニシイ 伊吹 西井 一郎 ( ) <令和2年4月> 博士(理学)
		多細胞進化分子論Ⅰ 多細胞進化分子論Ⅱ 多細胞進化分子論演習Ⅰ 多細胞進化分子論演習Ⅱ
兼任	准教授	ニシムラ サトミ 西村 さとみ ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		古代学・聖地学セミナーA【2年おきに開講】 古代学・聖地学セミナーB【2年おきに開講】 古代学・聖地学セミナーC【2年おきに開講】 古代学・聖地学特別演習A【2年おきに開講】 古代学・聖地学特別演習B【2年おきに開講】 古代学・聖地学特別演習C【2年おきに開講】 国風文化論 国風文化論演習
兼任	准教授	ニシムラ ユウイチロウ 西村 雄一郎 ( ) <令和2年4月> 博士(地理学)
		行動地理学 行動地理学演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	ナガミ 奈良 久美 ( ) <令和2年4月> 博士(理学)
		植物分子環境応答論Ⅰ 植物分子環境応答論Ⅱ 植物分子環境応答論演習Ⅰ 植物分子環境応答論演習Ⅱ
兼任	准教授	ニシイ 伊吹 西井 一郎 ( ) <令和2年4月> 博士(理学)
		多細胞進化分子論Ⅰ 多細胞進化分子論Ⅱ 多細胞進化分子論演習Ⅰ 多細胞進化分子論演習Ⅱ
兼任	教授	ニシムラ サトミ 西村 さとみ ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		古代学・聖地学セミナーA【2年おきに開講】 古代学・聖地学セミナーB【2年おきに開講】 古代学・聖地学セミナーC【2年おきに開講】 古代学・聖地学特別演習A【2年おきに開講】 古代学・聖地学特別演習B【2年おきに開講】 古代学・聖地学特別演習C【2年おきに開講】 国風文化論 国風文化論演習
兼任	准教授	ニシムラ ユウイチロウ 西村 雄一郎 ( ) <令和2年4月> 博士(地理学)
		行動地理学 行動地理学演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	フジイ ヤスキ 藤井 康之 ( ) <令和2年4月> 修士(教育学)※修士(音楽)※
		音楽文化論 音楽文化論演習
兼任	准教授	フジヒラ マホ 藤平 真紀子 ( ) <令和2年4月> 博士(学術)
		居住環境管理論 居住環境管理論演習
兼任	准教授	マエダ マサミ 前田 真砂美 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		中国言語文化表現論 中国言語文化表現論演習
兼任	准教授	ヤマ ヨシ 矢島 洋一 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		アジア文化史論 アジア文化史論演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	フジイ ヤスキ 藤井 康之 ( ) <令和2年4月> 修士(教育学)※修士(音楽)※
		音楽文化論 音楽文化論演習
兼任	准教授	フジヒラ マホ 藤平 真紀子 ( ) <令和2年4月> 博士(学術)
		居住環境管理論 居住環境管理論演習
兼任	准教授	マエダ マサミ 前田 真砂美 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		中国言語文化表現論 中国言語文化表現論演習
兼任	准教授	ヤマ ヨシ 矢島 洋一 ( ) <令和2年4月> 博士(文学)
		アジア文化史論 アジア文化史論演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	ヤダ 卓 保田 卓 ( ) <令和2年4月> 修士(教育学)
		教育システム論 教育システム論演習
兼任	准教授	シカガ ヒサ 吉川 尚男 ( ) <令和2年4月> 医学博士
		ゲノム多様性論 I ゲノム多様性論 II ゲノム多様性論演習 I ゲノム多様性論演習 II
兼任	講師	イタダ 剛彦 飯田 剛彦 ( ) <令和2年4月> 修士(文学)※
		奈良時代文献資料論 奈良時代文献資料論演習
兼任	講師	イマイ 晃樹 今井 晃樹 ( ) <令和2年4月> 修士(文学)
		東アジア考古学特論 東アジア考古学演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	ヤダ 卓 保田 卓 ( ) <令和2年4月> 修士(教育学)
		教育システム論 教育システム論演習
兼任	准教授	シカガ ヒサ 吉川 尚男 ( ) <令和2年4月> 医学博士
		ゲノム多様性論 I ゲノム多様性論 II ゲノム多様性論演習 I ゲノム多様性論演習 II
兼任	講師	イタダ 剛彦 飯田 剛彦 ( ) <令和2年4月> 修士(文学)※
		奈良時代文献資料論 奈良時代文献資料論演習
兼任	講師	イマイ 晃樹 今井 晃樹 ( ) <令和2年4月> 修士(文学)
		東アジア考古学特論 東アジア考古学演習



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	エドワード・ダニエル・マークス Edward Daniel Marx ( ) ＜令和2年4月＞ 文学博士
		欧米文化表現論【隔年】 欧米文化表現論演習【隔年】
兼任	講師	クワ ケヤ 桑田 訓也 ( ) ＜令和2年4月＞ 修士(文学)※
		木簡学特論 木簡学演習
兼任	講師	コハマ マサコ 小浜 正子 ( ) ＜令和2年4月＞ 博士(人文科学)
		ジェンダー理論【隔年】 国際ジェンダー開発論【隔年】
兼任	講師	ジンノ(ノ) マギミ 神野(孫) 恵 ( ) ＜令和2年4月＞ 修士(人間・環境学)
		歴史考古学特論 歴史考古学演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	エドワード・ダニエル・マークス Edward Daniel Marx ( ) ＜令和2年4月＞ 文学博士
		欧米文化表現論【隔年】 欧米文化表現論演習【隔年】
兼任	講師	クワ ケヤ 桑田 訓也 ( ) ＜令和2年4月＞ 修士(文学)※
		木簡学特論 木簡学演習
兼任	講師	コハマ マサコ 小浜 正子 ( ) ＜令和2年4月＞ 博士(人文科学)
		ジェンダー理論【隔年】 国際ジェンダー開発論【隔年】
兼任	講師	ジンノ(ノ) マギミ 神野(孫) 恵 ( ) ＜令和2年4月＞ 修士(人間・環境学)
		歴史考古学特論 歴史考古学演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	バリタシ 野尻 忠 ( ) ＜令和2年4月＞ 修士(文学)※
		日本古典文化資料論 日本古典文化資料論演習
兼任	講師	ハシダ トシ 林田 敏子 ( ) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		西洋社会文化史論【隔年】 西洋社会文化史論演習【隔年】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	バリタシ 野尻 忠 ( ) ＜令和2年4月＞ 修士(文学)※
		日本古典文化資料論 日本古典文化資料論演習
兼任	講師	ハシダ トシ 林田 敏子 ( ) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		西洋社会文化史論【隔年】 西洋社会文化史論演習【隔年】

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ①担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

令和2年4月 星野聡子准教授、山崎明子准教授、岡崎真紀子准教授、西村さとみ准教授 教授昇任

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
  - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
5	3	4
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
20	18	2	0	40	0	22	16	2	0	40	0
(26)	(27)	(0)	(0)	(53)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
31	8	1				31	8	1			
(31)	(8)	(1)				(31)	(8)	(1)			
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
22	16	2	0	40	0	22	16	2	0	40	0
[ 2 ]	[ Δ2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 2 ]	[ Δ2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
31	8	1				31	8	1			
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定 年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員のう ち、定年を延長して 採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{40}{40} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{40} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1		該当なし					
2							
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1		該当なし					
2							
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{40} = 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1		該当なし					
2							
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び ( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
該当なし			

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。





## 7 その他全般的事項

＜人間文化総合科学研究科 生活環境科学専攻（博士後期課程）＞

### （1）設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### （2）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a 委員会の設置状況 人間文化総合科学研究科FD委員会</li> <li>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 年数回開催</li> <li>c 委員会の審議事項等 大学院におけるFDの実施及び実施体制に関すること FDの評価に関すること その他FDに関する事項</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a 実施内容 大学院FD活動の作成 FD研修会の実施</li> <li>b 実施方法 人間文化総合科学研究科で実施する</li> <li>c 開催状況（教員の参加状況含む） 年1回実施</li> <li>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 学生アンケートについて、結果を大学院担当教員にフィードバックしている</li> </ul> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a 実施の有無及び実施時期 年度末に学生アンケートを実施</li> <li>b 教員や学生への公開状況、方法等 人間文化総合科学研究科FD活動報告を含めたFD活動実績報告書を教員に配布するとともに、学生には学術情報処理センターにおいて閲覧可能にしている</li> </ul>
--

（注）・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の計画・目的等、設置計画どおりに実施している。今後も引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおり実施することとしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和6年度 公表予定

b 公表方法

大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

令和2年に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）による大学機関別認証評価を受審予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

≪ aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他 ( ) ]

≪ aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科ファカルティ・ディベロップメント委員会内規

(設置)

第1条 奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科(以下「研究科」という。)に、ファカルティ・ディベロップメント委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(任務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を行う。

- 一 ファカルティ・ディベロップメント推進委員会(以下「FD 推進委員会」という。)の定めた基本方針の下での大学院におけるファカルティ・ディベロップメント(以下「FD」という。)の実施及び実施体制に関すること。
- 二 FDの評価に関すること。
- 三 FD推進委員会との連絡調整に関すること。
- 四 運営委員会から委任された事項。
- 五 その他FDに関する事項。

(組織)

第3条 委員会は、次の委員をもって組織する。

- 一 研究科運営委員会から互選された者 1名
  - 二 博士前期課程各分科会から選出された教員 各1名
  - 三 博士後期課程各専攻(生活工学共同専攻は生活環境科学専攻に含む。)から選出された教員 各1名
  - 四 その他委員会が必要と認めた者
- 2 前項第二号及び第三号に掲げる委員の任期は2年とし、原則として半数交替とする。  
なお、原則として再任は不可とする。  
ただし、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 第1項第四号に掲げる委員の任期は、委員会が定める。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、第3条1項一号の委員とする。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

(委員以外の者の出席)

第5条 委員会が必要と認めたときは、委員以外の者を出席させることができる。

(専門部会)

第6条 委員会は、必要に応じて専門部会を置くことができる。

- 2 専門部会に関し必要な事項は、委員会が定める。

(事務)

第7条 委員会の事務は、学務課において行う。

(雑則)

第8条 この内規に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会がこれを定める。

附 則

この内規は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成21年5月28日から施行する。

附 則

この内規は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、令和2年4月1日から施行する。